# 令和８年度　立川市立西砂小学校　授業改善推進プラン

| 学校の教育目標 |
| --- |
| ○思いやりのある子ども　　◎自分の考えをもつ子ども　　○健康で明るい子ども |

| 児童に育成を目指す資質・能力 | 複数の教科や学年全体に共通する取組 |
| --- | --- |
| ◆身に付けた知識･技能を活用して課題を解決する力<br>◆自分の考えをもち､発信する力<br>◆自ら問いをもち､主体的に問題を解決しようとする力 | ■既習事項を意識しながら、授業を展開する。<br>■「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させる授業を展開する。<br>■体験活動を取り入れ、ICT 機器を有効に活用する。 |

| 教科 | 教科で育成を目指す資質・能力 | 資質・能力を育成するための具体的な取組（学習活動など） |
| --- | --- | --- |
| 国語 | ○言葉の意味を理解して正しく使ったり､既習漢字を正しく活用したりする力<br>○文章を正しく読み取る力<br>○目的や意図に応じて自分の考えを話したり､文章にまとめたりする力 | ・辞書やタブレット PC を使い、正しい言葉の意味や漢字を確かめさせ､書いた文章を友達と読み合いながら推敲するなどして定着を図る。<br>・朝読書等、読書の機会を意図的に設け、語彙を増やせるように様々な言葉に触れる環境をつくる。<br>・説明文の構成やキーワード､物語文の会話文や心情を表す言葉に着目させ、正しく読み取れるようにする。<br>・話型を提示したり､少人数で伝えることから始めたりする他、比較・検討しながら友達と交流し、考えを伝える時間を確保する。<br>・ワークシートやタブレット PC を活用して､「考えと理由や事例」などのつながりや配列を意識した文章を書かせる。 |
| 社会 | ○地理的、歴史的な事象など、基礎的な知識<br>○課題を追究したり解決したりする力 | ・単元の導入場面での資料提示で、ICT を活用する。また、既習事項を導入に取り入れる。<br>・復習として､前時の学習内容をクイズ形式等にして振り返り、定着を図る。<br>・学習課題に対する自分の考えを自分の言葉でまとめて書く活動を取り入れる。<br>・課題に対して予想を立てて、自分の考えをもたせる。自分の変容が分かるように振り返りを書かせる。 |
| 算数 | ○前学年までの算数科の基礎的な知識・技能<br>（立式、演算決定、単位、時間と時刻、作表、作図）<br>○問題場面を正しく把握し、立式する力<br>○既習事項と関連付けて考える力<br>○統合的・発展的に考える力 | ・全国学力・学習状況調査等の結果分析や AI ドリルを活用して､課題のある領域を中心に意図的に復習する時間を設定する。<br>・児童がどうやったらできるかなど考えたくなるような問題の提示を取り入れる。<br>・問題場面を図表に整理する機会を多くもち､数直線や､表､式を活用し、少人数で伝え合う活動を通して、意味理解を深める。<br>・前時の振り返りや授業のまとめの時間に既習事項や本時の学びを関連付け、統合的･発展的に考察する活動を取り入れる。 |

| 教科 | 教科で育成を目指す資質・能力 | 資質・能力を育成するための具体的な取組（学習活動など） |
|---|---|---|
| 理科 | ○科学的根拠を基に実験の結果を予想する力や条件制御を意識して実験を計画する力<br>○学んだことを生活に生かしたり、結び付けたりする力 | ・予想を立てる際の根拠を明らかにさせ、どの条件を比較するとよいかを論理的に考えさせる。<br>・実験の結果をまとめる際に自分の立てた予想を振り返りながらまとめることができるよう声掛けする。<br>・苦手な児童には、既習内容を確認させるとともに、生活経験を想起させた、日常生活とのつながりを意識させて意欲を高める。 |
| 生活 | ○観察や体験を通して、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさなどに気付く力<br>○生活の中で、気付いたこと、できるようになったことなどを使って、伝えたり、交流したり、振り返ったりして表現する力 | ・気付いたことを全体で交流する際に、発言を価値付け、よさを認め合う活動を繰り返し行う。<br>・自分事として捉えられるように、具体的な活動や体験を多く行う。<br>・ワークシートに書いたり、発表したりする場を多く設定し、気付いたことを表現する経験を積ませる。 |
| 音楽 | ○表したい音楽表現をするための基礎的な技能<br>○表現に対する思いや意図をもち、それを言葉で伝える力 | ・ICT 機器を活用し、児童が必要なタイミングで、基礎的な技能を定着させるための動画資料や音源を視聴できるようにする。<br>・思いや意図を表現する言葉を共有する時間をつくり、新しく知った言葉を活用する場面を設定する。 |
| 図画工作 | ○発想や構想を作品や活動を通して表現する力<br>○他者の作品や表現活動から、よさや美しさを感じ取る力 | ・具体的な作品例を多く提示することで、自らの表現活動に生かせるようにする。<br>・多様な表現活動に接する機会を増やし、よさや美しさを感じ取る活動を多く設定する。 |
| 家庭 | ○学習内容を日常生活と結び付けて考える力 | ・実生活を想起しやすい教具や教材を使い、学んだことを生活に結び付けやすくしていく。 |
| 体育 | ○運動や健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し、判断する力<br>○運動の仕方の工夫を考え、表現する力 | ・ICT 機器等を活用して技のポイントを示したり、段階的に練習する場を工夫したりして、安心して活動できる環境を用意する。<br>・各自の体力に合わせためあてをもたせたり、教師や友達と対話的に学習を振り返らせたりする。<br>・振り返りを基に各自で課題を設定する。設定した課題を解決することができるよう、運動の仕方を工夫したり、友達と対話的に学習を進めたりする。 |
| 外国語 | ○必然性のある場面設定で、思考を働かせながら相手に自分の思いや考えを伝えたり、相手とコミュニケーションを取ったりする力<br>○既習表現を使いながらやり取りを続ける力 | ・児童が興味・関心をもち、友達と関わり合うことができる題材を設定し、言語活動を行う。<br>・単元のゴールや毎時間の言語活動では、英語を用いて互いの考えや気持ちを伝え合う際に、目的や場面、状況などを明確に設定する。<br>・既習表現を繰り返し使用できるように、計画的に Small Talk やアクティビティを行う。 |